

女子中高生のための

ハイブリッド開催

先端科学セミナー

科学は日々、進歩しています。お茶の水女子大学理系女性育成啓発研究所は、女子中高生の皆さまに科学の最先端を体験していただくセミナーを開催します。

地球上にはたくさんの生き物が生息しています。日常生活で目にする生き物は限られていますが、このセミナーでは、皆さんが初めて名前を聞くような生き物を紹介し、その秘密に迫ります。また、よく知っていると思っていた生き物たちにも、今まで知らなかった驚くべき特性があります。このような生き物たちの世界を知ること、生命の不思議さを再発見してください。女子中高生だけでなく、一般の方のご参加も歓迎します。

第12回 「おもしろい生き物の話」

蝶々の衣替え & 蝶々を襲う小さな虫

山中 明 教授（山口大学大学院 創成科学研究科(理学系)）

陸上動物の総種類数の70%をも占めるといわれる昆虫。日本だけでも3万種を超えます。昆虫が世界の至る所に生息し、繁栄を続けてこられた理由の一つは、環境への適応能力です。今回は、お馴染みの蝶とあまり目にする事のない小さな虫が主役です。それぞれの昆虫が遭遇する環境にどのように適応し、世代交代をしながらどのように1年を生き抜いているのかを紹介します。



ナミアゲハ

海の珍しい動物ギボシムシやムチョウウズムシ

田川 訓史 准教授（広島大学大学院 統合生命科学研究科附属臨海実験所）

生命が地球上で誕生したのは太古の海であるということ、皆さん聞いたことがあると思います。そして現在の海には目に見えない小さなプランクトンからとても大きなクジラのように色々な生き物が生息しています。しかしながら、私たちが普段身近に接する生き物は、私たちヒトを含め、例えばイヌやネコなどの背骨がある生き物（脊椎動物）がほとんどです。ところが、地球上に生息する動物は、その多くは背骨がない動物（無脊椎動物）がそのほとんどを占めています。その中から、私が研究しているギボシムシやムチョウウズムシといった珍しい海の動物を紹介したいと思います。



ヒメギボシムシ



ナйкаイムチョウウズムシ

日時：2022年5月15日（日）13時30分～15時（講演・質疑応答）

会場：お茶の水女子大学 国際交流留学生プラザ2F 多目的ホール
オンラインとのハイブリッド開催（対面定員 20名）

※ 感染拡大の状況によっては全面オンラインに変更となる場合もあります。

対象：女子中学生・高校生・大学生・大学院生・一般

主催：お茶の水女子大学 理系女性育成啓発研究所

申込み・問い合わせ先

申込フォーム <https://crdeg.cf.ocha.ac.jp/ocha2/Plone/stem/12sentan>
から、5/12（木）までにお申し込みください。

※対面をご希望の方は5/8（日）までにお申し込みください。

お茶の水女子大学 理系女性育成啓発研究所

E-mail：ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp TEL：03-5978-5825 FAX：03-5978-2650

要申込